

# 第 64 回 長野県山岳協会 定期総会

2023 年 4 月 9 日 大町岳陽高校

## 総会次第

司会：事務局長

- 1 開会の辞 副会長
  - 2 会長挨拶 会長
  - 3 来賓・顧問挨拶
  - 4 新規加入団体の紹介 小谷村クライミング協会、長野フリークライミングクラブ
  - 5 議長、議事録署名人選出（各 2 名）
  - 6 資格審査（規約第 16 条第 3 項による）  
評議員総数 29 名 出席者（ 名） 委任状（ 名）
  - 7 議長着席・挨拶
  - 8 議事
    - (1) 2022 年度事業報告・活動報告
      - ① 総括報告 理事長
      - ② 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
      - ③ 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
      - ④ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山委員会・医学委員会）  
競技部（国体・スポーツクライミング）
      - ⑤ 高体連報告 高体連
      - ⑥ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
      - ⑦ ガバナンスコード スポーツ団体セルフチェックシート
    - (2) 2022 年度決算報告 事務局次長
    - (3) 2022 年度監査報告 監事
    - (4) 表彰
- 〈休憩〉
- (5) 2023 年度事業・活動計画
    - ① 方針 理事長
    - ② 総務部 事務局長・広報担当・ホームページ担当
    - ③ 支部 東北信・中信・諏訪・伊那
    - ④ 専門部 登山部（指導・遭難対策・自然保護・ジュニア・国際登山委員会・医学委員会）  
競技部（国体・スポーツクライミング）
    - ⑤ 高体連 高体連
    - ⑥ 山岳総合センター 山岳総合センター所長
  - (6) 2023 年度予算案
  - (7) その他案件
- 9 議長退任
  - 10 事務連絡 事務局長
  - 11 閉会の辞 副会長

## 2022年度 長野県山岳協会 総括報告

2022年度は、with コロナが模索された1年間でした。昨年中止となった国体は、PCR検査の徹底や入場制限などの厳格な感染対策のもと、無事開催されました。

また、昨年度まで行われなかった針ノ木の交流会、小川山キャンプなど、協会員同士の横のつながりとなる行事も無事開催することができました。

特筆すべきは行者小屋でのウィンターミーティングが数年ぶりに開催されたことです。開催に尽力いただいた故)村上周平さん、そして指導委員長の高橋政男さん、さらに当協会のためにだけ行者小屋を開けて下さった赤岳鉦泉様には深く感謝申し上げます。

自分がこの行事を通じて何人かの方に聞いたことは、横のつながりももちろんですが、「技術を学びたい」というニーズが思いのほか多かったことです。

この「横のつながり」「技術交流」は、当協会への加盟団体だけでなく、巷にある登山グループや個人にとってもニーズがあると思います。

また当協会には低酸素発生装置の安価での利用、ZOOM会議の無料利用、などのメリットもあります。

この先も長山協が生き残っていくためには、未だ認知度の低い当協会のメリットを今以上にアピールし、協会に加盟していないグループや個人を取り込んでいく必要があります。

指導員については、今年度は新たにアルパインクライミングコーチ1に1名合格、スポーツクライミングコーチ1養成講習修了2名となりました。

スポーツクライミング競技では橋詰委員長を中心に強化、またジュニアの育成等を進めていただきました。また国体に関わる膨大な事務作業や県とのやりとりを、川嶋国体委員長が中心となって適切に処理して頂きました。本当に感謝申し上げます。

また選手強化を目的として本年2月、長野フリークライミングクラブが発足しました。

5年後の2028年には、長野国スポが行われます。しかしながら、選手層の薄さや大会運営のための人的確保、施設整備、予算裏付けが十分とは言えないなど、課題も山積しています。JMCA公認の審判員については、引き続き資格取得者を増やしていく必要があります。

11年目を迎えた個人会員制度については、今後更に個人会員を増やしていくことが必要です。未組織の人たちに、横のつながりの楽しさや有意義さをアピールしていくことが長山協の活性化につながります。

長山協の収入収支については加盟団体数やスポンサーの減少、クライミング大会を開催す

るための費用、また運営に協力していただいた会員への謝礼が大きな問題になっています。引き続き、経費削減のための手立てを考えていきます。

山岳総合センターの指定管理者として 3 期目（通算 11 年目）は、新しい視点での事業が軌道に乗ってきています。YouTube にいくつかの動画が公開されています。このようなセンターの社会的責任を果たそうとする動きが今まで以上に活発になることによって、センターの認知度も高まってきています。しかし全国の人たちの認知度はまだまだ低いのが現状です。

山岳図書資料館も 11 年目を迎えました。遠方からの納本、閲覧など安定的な利用がされています。令和 4 年度末で 39,452 点の図書資料が収蔵されました。今後も山岳博物館ほか関係者との協力の下に資料の充実、適切な運営に努めていきたいと考えています。

## 総務部

### 2022 年度活動報告

#### 1) 活動概要

本年度、組織体制の改善で部制が敷かれ、従来事務局と称していたセクションが「総務部」となった。これを機に人的体制に手を加え「総務部長」「事務局長」「事務担当の事務局次長」「会計担当の事務局次長」「やまなみ担当理事及び各支部選出の編集委員」「ホームページ担当理事」でスタートした。

事務局担当では、郵送物、SNS 利用の多量な通知類を各委員会、4 役などに振分け転送、必要に応じ回答作成・返送作業などに対処した。

また、定額で利用している Zoom 機能を理事会以外にも開放し、加盟団体などで 50 回以上の活用があった。

会計担当では、会費督促、賛助広告費請求、各委員会などへの活動補助金、助成金の適正執行に対処した。

やまなみ担当では、機関紙「やまなみ」発行し、活動の広報を通じ会員間の繋がりを図るとともに記録として後世に残して行くことに対処した。

ホームページ担当では、ホームページ、フェースブック、インスタグラムを活用し、SC 委員会情報も含めスピード感のある情報発信に努めた。

#### 2) 活動内容

次ページ以降に記載

#### 3) 総括

事務局における通知類の振分け、回答作成にあっては 4 役をはじめ各委員から協力をいただき感謝している。引き続き関係部署からの協力も得て適切な事務処理を行いたい。

会計担当では、円滑な執行が出来たものと考えながら、今後ウィズコロナで登山活動の活発化が予想されることから適切な予算配分と執行を行っていく必要がある。

機関紙やまなみは、賛助広告料の範囲での発行を旨としており、コロナ禍を受け広告主の負担軽減と継続支援を図るためページ数を減じる方策を取ったが、ウィズコロナを踏まえた紙面数、掲載内容等の今後の方針を明確にしておく必要がある。

ホームページ担当では可能な限りの情報発信を行ったと考えているが、個人情報保護の観点からホームページ上での理事名簿等が非公開と決定され、協会員と協会間の乖離に繋がるのではと危惧される事象もあった。早急に適切な解消方法も検討して行きたい。

## 2022年度 長野県山岳協会活動報告

年	月	日	活動
2022年	【4月】	☆ 10日	第63定期総会(大町岳陽高校)
		☆ 13日	中信支部幹事会①
		☆ 16日	Top of Wonder (兼 県大会)
		☆ 23日	Mカップ(兼 県大会)
		☆ 21日	諏訪支部幹事会①
		☆ 25日	遭対委員会①(オンライン)
		☆ 26日	第1回理事会(オンライン)
	【5月】	☆ 12日	自然保護委員会・安曇野フォーラム
		☆ 14日～15日	第25回雪上技術交流会(針ノ木雪渓) (8団体・30名)
		☆ 14日～15日	スポーツ指導者養成講習会 (5名)
		☆ 21日	遭対委員会 ハヶ岳雪崩事故検討会(オンライン)
		☆ 24日	伊那支部幹事会①
		☆ 28日	春の戸隠高原を歩こう (山岳総合センター共催)
		☆ 28日～29日 29日	第62回スポーツ指導者検定会 (2名) 北信越5県代表者会議 (杉田・西田・森山)
	【6月】	☆ 2日～3日	令和4年長野県高等学校総合体育大会 第51回登山大会
		☆ 4日	東北信支部 物見の岩清掃、御礼
		☆ 10日	やまなみ245号発行
		☆ 14日	ジュニア登山教室①「クライミングに挑戦だ」(15名)
		☆ 17日～19日	令和4年北信越高等学校体育大会 第34回北信越高等学校登山大会
		☆ 18日	指導者研修会①読図(山岳総合センターと共催)(13名)
		☆ 20日	海外登山検討会
		☆ 21日	第2回理事会(オンライン)
		☆ 23日	伊那支部・ふるさとの山を登ろう(13名)
		☆ 25日	JMSCA 全国遭難対策委員長会議(オンライン)
		☆ 29日	山岳総合センター運営管理部会①、社員総会
	【7月】	☆ 7日	諏訪支部幹事会②
		☆ 3日	伊那支部・夏山登山教室 高鳥谷山(6名+スタッフ6名)
☆ 13日		中信支部幹事会②	
☆ 23日～24日		第43回北信越国体(福井県)(杉田・川嶋)	
☆ 24日		諏訪支部・夏山登山教室(中止)	
☆ 28日		東北信支部幹事会①	
☆ 27日～28日 ☆ 31日		ジュニア登山教室②鷹狩山登山(中止) 中信支部・夏山登山教室 大町運動公園人工壁(21名+スタッフ18名)	
【8月】	☆ 5日～9日	令和4年全国高等学校総合体育大会 第66回全国高等学校登山大会	
	☆ 23日	第3回理事会(オンライン)	
【9月】	☆ 8日	諏訪支部幹事会③	
	☆ 10日	やまなみ246号発行	
	☆ 17日	ジュニア登山教室③ 湯俣(5名+スタッフ4名)	
	☆ 18日～19日	SC委員会 山梨合宿 (8人)	
	☆ 20日	東北信支部幹事会②	
【10月】	☆ 2日～4日	とちぎ国体(視察)	
	☆ 16日	諏訪支部・ハヶ岳清掃登山 硫黄岳・根石岳(23名)	
	☆ 18日	第4回理事会(オンライン)	
	☆ 21日	令和4年度高山植物等保護対策協議会総会(書面決議書)	
	☆ 22日～23日	第36回長野県山岳協会 キャンプ in 小川山(47名)	
	☆ 24日	伊那支部 秋山交流会 風越山(雨のため中止)	
	☆ 30日	東北信支部・登山交流会 鴨ヶ嶽(23名)	

	<b>【11月】</b>	☆ 3日	指導者研修会② 冬山気象(山岳総合センターと共催)(19名)
		☆ 6日	諏訪支部・登ろうふるさとの山 観音沢～根石岳(9名)
		☆ 9日	県スポーツ協会とスポーツ課 ヒアリング
		☆ 20日	ジュニア登山教室④ 自然体験教室(中止)
		☆ 20日	C級審判員更新研修 長野県独自開催
		☆ 23日	2022年全国自然保護委員長会議・自然保護の集い(オンライン)
		☆ 26日	北信越五県連絡協議会(富山県)(杉田、西田)
		☆ 29日	山岳総合センター運営管理部会②
	<b>【12月】</b>	☆ 5日	国体委員リモート会議
		☆ 10日	やまなみ247号発行
		☆ 16日	国体委員会 競技関係者会議
		☆ 20日	第5回理事会(オンライン)
2 0 2 3 年	<b>【1月】</b>	☆ 12日	国体委員リモート会議
		☆ 15日	伊那支部・冬季技術訓練(入笠山・18名)
		☆ 22日	SC委員会 ユースクライマー講習会(11人)
	<b>【2月】</b>	☆ 4日	指導者研修会③ 雪崩救助(山岳総合センターと共催)(25名)
		☆ 5日	国際委員会・長山協セミナー あがたの森文化会館(62名)
		☆ 5日	ジュニア登山教室④ 鷹狩山(7名+スタッフ4名)
		☆ 11日～12日	SC委員会 白川ボルダー合宿(4人)
		☆ 16日	諏訪支部幹事会④
		☆ 18日～19日	第8回 ウィンターミーティングin 八ヶ岳 (31名)
		☆ 21日	第6回理事会(オンライン)
		☆ 25日	指導委員会総会
		<b>【3月】</b>	☆ 2日
		☆ 3日	諏訪支部総会
		☆ 5日	伊那支部 冬山交流会 風越山(14名) 幹事会②
		☆ 7日	山岳総合センター運営管理部会③
		☆ 8日	中信支部総会
		☆ 10日	やまなみ248号発行
		☆ 11日	JMSCA 自然保護指導員更新・新規研修会(更新16名+新規8名)
		☆ 11日	東北信支部幹事会③
		☆ 10日	やまなみ248号発行
		☆ 14日	第7回理事会
	<b>【4月】</b>	☆ 8日	第8回理事会

# 広報 長野県山岳協会ニュースやまなみ

## 2022年度 活動報告

### 1 活動概要

(1) 年間4回発行

(2) 協会の事業記録を主に、登山に関する記事を掲載。

事業記録記事は主に担当理事、各支部長にお願いし、また参加者の感想等についても手配をお願いした。

(3) 編集・割り付けについては、主として編集担当で行った。

### 2 活動報告

期 日	項 目	活 動 内 容
6月10日	245号発行 4ページ	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9月10日	246号発行 6ページ	
12月10日	247号発行 4ページ	
3月10日	248号発行 4ページ	
6月17日 9月20日 12月21日 3月20日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

### 3 総括

(1) 載せたい行事の関係で発行予定の10日に間に合わないことが多かった。

(2) 各位のご協力により、なんとか各号発行できました。ご協力に感謝するとともに、次年度もご協力をお願いします。

## 広報 ホームページ

### 2022 年度活動報告

#### 1) 活動概要

- ・ ホームページの更新
- ・ SNS(協会 Facebook 及び Instagram)を通じた主に山の情報発信
- ・ スポーツクライミング委員会、国体委員会と連携した競技に関する情報の発信

#### 2) 活動詳細

##### ① 協会公式ホームページの更新

- ・ 最新の情報を確認出来るよう、HP で Facebook(協会、SC 委)を確認できるようにした。
- ・ 従来通り HP 上の「お知らせ」欄での情報更新も継続。
- ・ 各支部、委員会等からの依頼に基づく情報掲載作業

##### ② Facebook、Instagram の運用(2023 年 3 月現在)

###### 【協会本体】

- ・ Facebook 2,001 件の「いいね！」・ フォロワー2,293 人
- ・ Instagram フォロワー1,503 人

###### 【SC 委員会】

- ・ Facebook Facebook: 46 件の「いいね！」・ フォロワー66 人
- ・ Instagram フォロワー38 人

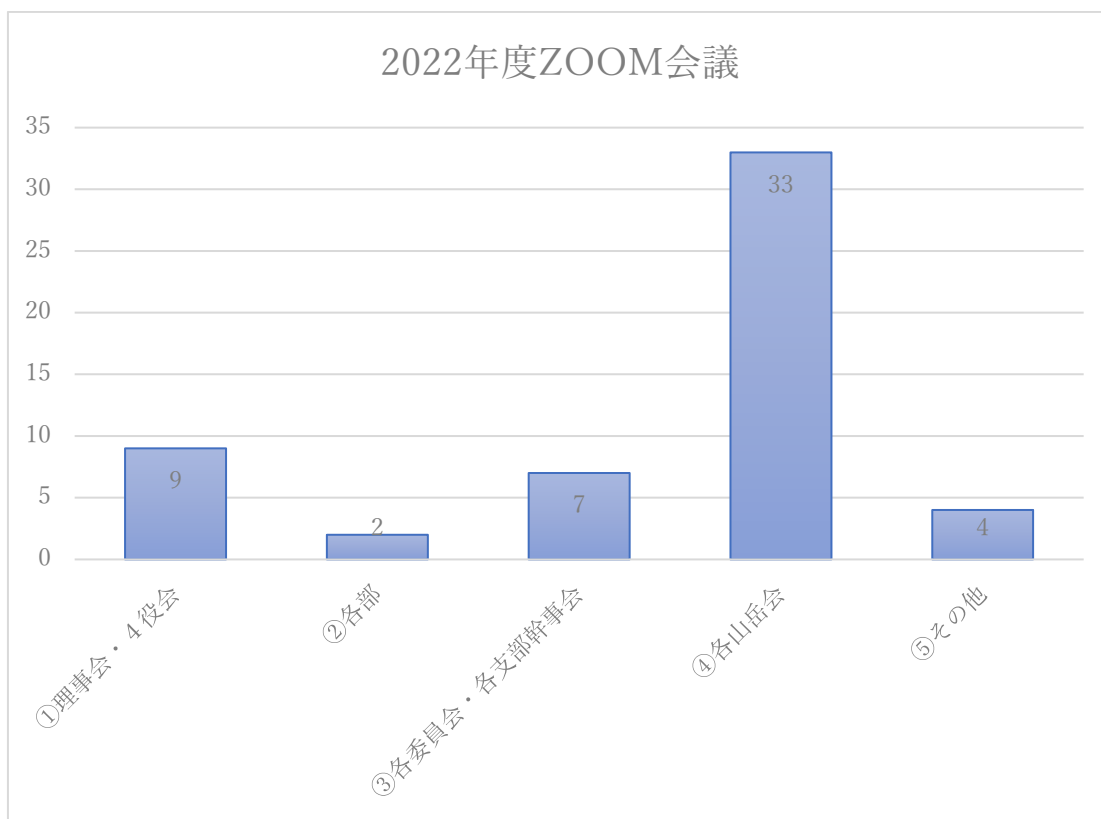
※ 参考:長野県山岳総合センターフォロワー数 Facebook 3,839 人、Instagram 382 人

- ・ 協会 Facebook については、フォロワー数は昨年度の約 1.5 倍。  
Instagram は、フォロワー数が昨年度の約 4.5 倍となった。  
Instagram は比較的若い層に支持されていることから、今後も発信強化を図りたい。
- ・ SC 委員会では、主に委員や発信力のある関係者に投稿を依頼している。今後さらに、タイムリーな情報発信に期待したい。
- ・ 昨年度総会決議を受けた広報担当への協力者増について、主にSNSでの発信作業に関わることについて、協会員数名の了承を得ることが出来た。情報発信の内容は引き続き精査しながら、特に協会に望まれている「長野県内の山の最新の情報」をはじめとする各種情報の発信について強化をしていきたい。

#### 3) 総括

コロナ禍におけるアウトドアブームの反映もあってか、特に SNS のフォロワー数については、予想を超える増加であった。一方、確実な情報を届けるためには HP の存在も必要不可欠。今後も協力者を増やすなどしながら、SNS と HP の連携・両立と、迅速で魅力ある情報の発信を継続していきたい。





※2022年4月10日～2023年4月8日 ZOOM 会議実績

合計：55回

- ・②「各部」は、2回とも登山部の会議。
- ・③支部幹事会の実績なし。
- ・④各山岳会は、山岳会例会に活用されている。
- ・⑤その他は、山岳総合センターの管理運営部会、総会

各部で活用されており、効果はあったと考えます。

---

参考：ZOOM 年間使用料: 22,110 円

## 東北信支部

### 2022年度活動報告

#### 1) 活動報告

①東北信支部各会が交流し、親睦を深めるとともに、相互の登山技術および安全登山の向上を目指したが、新型コロナ感染などの影響で支部交流会のみの活動となった。

②支部交流会では、各会の活動状況や課題についても意見交換やアドバイスを頂くことができた。

#### 2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
6月4日(土)	物見の岩清掃 物見の岩謝礼	(新型コロナの影響で中止) 霊山寺(ホワイトバーチ長野に対応をしていただいた)
7月28日(木)	第1回幹事会	支部交流会他について メール等により意見交換を行った。
9月20日(火)	第2回幹事会	支部交流会について メール等により行った。
10月30日(日)	東北信支部交流会	中野市鴨ヶ嶽(中野市)で実施した。 23名の参加を頂いた。
3月11日(土)	第3回幹事会	事業報告と事業計画について メール等により行った。

#### 3) 東北信支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	鈴木 一成	中野山岳会	ジュニア委員	内川 祥子	ホワイトバーチ長野
事務局長			国体(競技)委員	伊東 秀起	アトワール
副支部長	内川 祥子	ホワイトバーチ長野	スポーツライジング委員		
指導委員	松山 信	マウントブーラー	国際登山委員	松下 徳孝	中条山岳会
遭難対策委員			医科学委員	柴本 利広	GDM
自然保護委員	中島 智章	長野山岳会	やまなみ編集委員	中島 智章	長野山岳会

## 中信支部

### 2022年度 活動報告

#### (1) 活動概要

- ①幹事会の開催を行った。
- ②次年度以降の活動について協議を行った。

#### (2) 活動内容

回	実施日	教室名称	活動内容
1	4月13日（水）	第1回幹事会	・今年度事業計画について ・春山登山計画について
2	7月13日（水）	第2回幹事会	・夏山登山教室について
3	7月31日（日）	夏山登山教室	・夏山登山教室の実施 ・小中学生及びその親 ・大町市運動公園 人工岩場
4	3月8日（水）	第3回幹事会 （支部総会）	・今年度事業について ・来年度事業計画について

#### (3) 総括

- ・夏山登山教室は、山岳総合センターとの共催事業とした。
- ・クライミング・メイト・クラブ（CMC）については、今年度をもって退会した。

## 諏訪支部

### 2022年度活動報告

#### 1)活動概要

期 日	項 目	活動内容
4/21(木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/7(木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7/24(日)	夏山登山教室	中止
9/8(木)	第3回幹事会	清掃登山最終確認
10/16(日)	八ヶ岳清掃登山	実施
11/6(日)	登ろうふるさとの山	実施
2/16(木)	第4回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
3/3(金)	支部総会	2022年度活動報告・決算 2023年度活動計画・予算

#### 2)活動内容

- 夏山登山教室 三峰山 直前中止
- 八ヶ岳清掃登山 硫黄岳 14名 根石岳 9名
- 登ろうふるさとの山 観音沢から鷲ヶ峰 12名

#### 3)総括

夏山登山教室は、諏訪支部メンバーの他22名の一般参加予定でしたが、残念ながらコロナ禍の影響で直前の3日程前に中止決定。

清掃登山、登ろうふるさとの山は、コロナ禍のため、諏訪支部メンバーのみで実施。

## 伊那支部

### 2022年度 活動報告

#### 1) 活動方針

伊那支部各会の交流と発展を目的とし、交流会や技術講習会などを行っていく。  
 安全な登山について考え、安全対策の確認と充実を図る。  
 長野県山岳協会の活動への積極的な参加を行う。

#### 2) 活動内容

期日	項目	活動内容
5月24日	第1回 幹事会	支部年間計画について
6月23日	ふるさとの山に登ろう	木曾駒ヶ岳/参加者13名
7月3日	夏山登山教室	高鳥谷山/一般参加者6名支部6名計12名
10月24日	秋山交流会	風越山/雨のため中止
1月15日	冬季技術訓練	入笠山/参加者18人
3月5日	冬山交流会	風越山/参加者14名
3月5日	第2回 幹事会	支部行事について

総括:コロナ禍であったが、雨で中止になった秋山交流会を除いて各行事は実施できた。  
 各行事とも10人を超える参加者があり、盛況だった。

#### 3) 伊那支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	塩澤 成人	伊那山の会	遭難対策委員	藤原 昌之	伊那山の会
副支部長	小田切 圭	駒峰山岳会	ジュニア委員	傘木 靖	飯田山岳会
指導委員	伊藤 彰啓	伊那山の会	スポーツクラ イミング委員	竹内 一郎	飯田山岳会
やまなみ 編集委員	唐木 千穂	伊那山の会	支部幹事	塩澤 成人	伊那山の会
自然保護委員	吉澤 志津子	伊那山の会	支部幹事	小田切 圭	駒峰山岳会
国際登山委員	林 英之	駒峰山岳会	支部幹事	霜田 理絵	飯田山岳会
医科学委員	寺澤 多津子	飯田山岳会			
国体委員	木ノ島 康弘	駒峰山岳会			

## 登山部

### 2022年度 総括

ワーキンググループの意見を参考にし、登山部はこれまで普及指導部に位置づけられていた「指導委員会」「遭難対策委員会」「自然保護委員会」「ジュニア委員会」、国際部（「国際登山委員会」）、「医科学委員会」、かつてあった「事業部」という組織を総括する新たな部として2022年度から、リニューアルして活動を始めました。

理事長の「協会全体の活性化のために、これまで縦割りであった委員会の活動に横のつながりを持たせ、協会の本来の願いに沿った形を具体化すること。」という方針に沿ったものですが、本来の登山を取り戻したい。これが本旨です。新たな登山部の役割を具現化しようという模索の一年でした。

山岳協会に集った加盟団体、また個人会員も含む協会員がメリットを感じ、負担を感じないような、参加してよかったと思えるような活動を構築していきたいと考えて活動してきました。これまで特定の委員会が行なっていた活動を、時には支部も交えて、横の連携をとりながら、有機的に響き合って活性化するように登山部というより大きな枠組みの中で取り組もうという大きな目標のもとに、「第25回雪上技術交流会 in 針ノ木」「第36回長山協キャンプ in 小川山」「第8回ウインターミーティング in 八ヶ岳」「長山協山のセミナー」を複数の委員会の共同企画として準備をし、運営しました。過去2年間コロナでできなかったこれらの活動を3年ぶりに復活することもでき、新たな方向性を見いだせたと考えています。

コロナが少しずつ落ち着きを見せてくる中で、コロナとの付き合い方も変容し、過去2年間できなかった活動ができたことは大きな意味があったと思います。

本来の山岳協会の目的である「正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与する」ことができるような活動へのきっかけ作りになった年となりました。

次年度はこれらの活動をさらに相互の関係の中で大きくしていければいいと思います。

#### 具体的活動（主なもの）

第25回雪上技術交流会 in 針ノ木

第36回長山協キャンプ in 小川山

第8回ウインターミーティング in 八ヶ岳

長山協 山のセミナー

自然保護委員会指導員の更新ならびに養成講習会

ジュニア登山教室

## 指導委員会

### 2022 年度事業報告

村上前委員長の急逝に伴い、指導委員長をお受けしたものの、個人的に2022年度の日程が詰まっている中、専門委員、元専門委員、指導員はじめ長野県山岳総合センター、各理事に全面的にバックアップいただき、何とか1年間の計画を進めることが出来ました。改めて、お詫びと感謝を申し上げるとともに、長野県山岳協会の指導員をはじめとした協会の層の厚さを実感したことをお伝えします。

新型コロナウイルス感染症による行動制限の時期を経て、ウィズコロナの時期が名実ともに始まろうとしています。

この3年余りの期間、複数人によるテント生活がままならない一方、アウトドア活動への期待と更には登山活動への新規参加者の増加など、長年登山を中心にアウトドア活動を続けてきた指導員各層にも少なからず戸惑いもあることと思われまます。

以下に示したとおり、指導委員会の計画した2022年度の活動は、コロナ対策を含めながら実施され、内容もコロナ以前に戻りつつあります。実務的には、運営や事務処理の不慣れにより、ご迷惑をおかけした分が多く反省としてありますが、とにかく実行できたということ、まず良しとしたいとも考えます。

この年が稀有な数年を経ての次年以降の活動への踏み台となると信じて総括とします。

0 主任検定員養成講習会派遣(JMSCA)	3月20日(日)～21日(月)(MB・松山)	(2022 総会で報告済)
1 第25回雪上交流会 in 針の木	5月14日(土)～15日(日)	8団体 30名
2 指導者養成講習会	5月14日(土)～15日(日)	5名
3 第62回指導員検定会	5月28日(土)～29日(日)	2名(1名合格)
4 第36回長山協キャンプ in 小川山	10月22日(土)～23日(日)	47名
5 指導者研修会(長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分)更新講習		
① 読図	6月18日(土)	13名
② 冬山気象	11月3日(木・祝)	19名
③ 雪崩救助	2023年2月4日(土)	25名
6 ウィンターミーティング in 八ヶ岳	2023年2月18日(土)～19日(日)	31名
7 指導委員会総会	2023年2月25日(土)	
8 富士山氷雪技術研修会(JMSCA)	JMSCAにて未実施	
9 支部主催登山教室への協力		随時
10 更新時講習・対象講習手続き		随時
11 協会未加盟指導員の個人会員化・有効期限切れ会員への対応のお願い		随時
12 SC 指導者養成講習会		派遣無
13 JMCSA 2022 シーズン表彰	2023年1月14日(土)	
	指導委員会推薦表彰	元指導委員長 中村和義氏
14 JMSCA 主催 スポーツライミングコーチ1養成講習 終了		2名

新規入会者 2名  
退会者 4名

## 登山部 遭対委員会

### 2022年度活動報告

#### 1) 活動概要

- ・新型コロナの対応をしつつ、各事業を実施する事ができた。
- ・2022年4月1日発生の八ヶ岳雪崩遭難事故について報告書を作成。

#### 2) 活動内容

- 長山協指導委員会との共催事業の実施
- 山岳センター主催事業への共催
- 八ヶ岳雪崩遭難事故の対応
- 遭対委員会の実施
- 日本山岳・SC協会 全国遭難対策委員長会議への参加

期 日	項 目	活動内容
2022年4月25日	第1回遭対委員会	Onlineで実施、年間計画等 参加委員3名
5月14～15日	針の木交流会（共催）	懇親会のみ委員長参加
5月21日	八ヶ岳雪崩遭難事故検討会	Onlineで実施 参加者：茅野山岳会会長、長山協会長、登山部長、委員長 茅野山岳会の報告書作成支援
6月18日	山岳センター主催 「指導者研修会 読図」共催	2名出席(委員長、委員1名)
6月25日	日本山岳・SC協会 全国遭難対策委員長会議	Onlineで参加(委員長)
10月22～23日	長山協キャンプ(共催)	10/17準備会議をOnlineで実施 委員長参加
11月3日	山岳センター主催「指導者研 修会 冬山の気象」共催	
2023年2月4日	山岳センター主催「指導者研 修会 冬山」共催	
2月18～19日	長山協ウィンターミーティン グ(共催)	
3月2日	八ヶ岳雪崩遭難事故検討会	茅野にて対面で実施 参加者：同行者、茅野山岳会会長、長山協会長、登山部長、委員長

#### 3) 総括

- ・各事業とも多くの参加者が集まり、有意義な研修と交流が行う事ができた。
- ・各研修会等においては主催・共催者の尽力で無事実施できたが、委員長含め委員がなかなか出席できない事業も多かった。



# 自然保護委員会

## 2022 年度活動報告

### 1) 活動概要

コロナ禍も治まったりまた波が押し寄せたりして思う様な活動が出来ませんでしたが無事か最小限の活動が出来ました。

### 2) 活動内容

#### 【協会内】

期 日	項 目	活 動 内 容
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集し、協会 HP、協会 SNS を通じて広く信州の山のすばらしさを周知する。
2月～	「里山情報発信」	信州の山、特に里山等を中心に、会員から情報及び写真を投稿してもらった。

#### 【対外・外部会議等】

- ① 3月16日(水) 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会 出席
- ② 同上、臨時総会（3月書面総会）
- ③ 5月12日(木) 安曇野フォーラム出席  
信州大学中村教授、同泉山教授、東京農工大学丸山名誉教授による雷鳥、日本猿、日本狼講演（杉田会長、西田副会長、小林貞幸元自然保護委員長、伊久間出席）
- ④ 5月28日(土) 「春の戸隠高原を歩こう」山岳総合センター共催 参加
- ⑤ 10月21日 令和4年度高山植物等保護対策協議会総会（書面決議書）
- ⑥ 11月23日(水) 2022年度「全国自然保護委員長会議・自然保護の集い」参加（オンライン Zoom 参加）
- ⑦ 3月11日(土) JMSCA 自然保護指導員資格更新・新規研修会実施  
更新者 16名、新規認定者 8名  
講師 1、環境省中部山岳国立公園管理事務所 国立公園保護管理企画官 仁田晃司氏  
講師 2、JMSCA 自然保護委員会常任理事主任講師 猪狩ノブ氏

### 3) 総括

自然保護活動と言うあまり目立った活動は出来なかった。  
山の写真、里山情報発信も思う様に情報は集まらなかった。  
来期はもっと活発な自然保護活動を行いたい。

## ジュニア委員会

2022年度 活動報告

### (1) 活動概要

- ①ジュニア登山教室を実施した。(3回、山岳総合センター等との共催)
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行った。

### (2) 活動内容

回	実施日	教室名称	活動内容・実施場所	参加等
1	6月6日(土)	第1回登山教室	小・中学校SC教室 県山岳総合センターとの共催 大町市運動公園	小学生10名
2	7月28日(水) ～29日(木)	第2回登山教室	自然体験教室 県山岳総合センターとの共催 『やまなみ』242号掲載 山岳総合センター	小学生14名
3	9月5日(日)	第3回登山教室	夏山登山教室 高瀬溪谷、湯俣	中止
4	1月8日(土)	第4回登山教室	自然体験教室 県山岳総合センター、大町山博との共催 『やまなみ』244号掲載 山岳総合センター	小学生10名

### (3) 総括

- ・感染症拡大により、4回の教室実施を計画したが、夏季の教室については中止とした。
- ・JMSCAの『少年少女登山教室』の補助金を申請したところ、交付を受けることができた。

## 国際登山委員会

### 2022年度活動報告

#### 1) 活動概要

3年振りに長山協セミナーを開催することができた。

#### 2) 活動内容

- 6月20日 「長野県シスパーレ登山隊 2022」の海外登山検討会を実施
- 2月5日 自然保護・医科学と共同で長山協セミナーを開催

期 日	項 目	活動内容
6月20日	海外登山検討会	「長野県シスパーレ登山隊 2022」について、杉田会長、大西登山部長出席により検討会実施
2月5日	長山協セミナー	あがたの森講堂にて開催 参加者数 62名(協会員 53名、一般 9名)

#### 3) 総括

今年度は協会員による海外登山・トレッキングの報告が3件あった。「カンチェンジュンガトレッキング(ネパール)」、「ロブジェイースト登山隊(ネパール)」、「シスパーレ登山隊(パキスタン)」の3隊である。コロナによる登山自粛も少しずつ緩和し活発化している。またセミナー参加者が予想以上に多く、自然保護の「ライチョウ飼育の挑戦」、医科学の「膝の痛みと山登り」の講演と合わせたこの企画には、協会員だけでなく一般参加者にもニーズがあることがわかった。今後も継続する必要がある。

## 医科学委員会

### 2022年度活動報告

#### 1) 活動概要

本年度は、コロナ渦を乗り越え、登山を楽しみながら健康的な毎日を過ごす為に『日々できる事』を発信してまいりました。

#### 2) 活動内容

- 2月5日 長山協セミナーでは、国際委員会と自然保護委員会との共催で『膝の痛みと山登りについて』信州リハビリテーション専門学校の藤堂先生にご講演いただきました。
- 『やまなみ』への寄稿
  - ・やまなみ246号 服部徹さんに寄稿いただきました。
  - ・やまなみ247号、248号 藤堂庫治さんに寄稿いただきました。

#### 3) 総括

ご専門の先生方にご協力をいただきながら活動してまいりました。

来年度は、部員さんのご協力を得ながら、故障に負けない体づくりを提案してまいりたいと思います。

## 国体委員会

### 2022 年度活動報告

#### 【活動内容】

- 4/16 県大会を兼ねた top of wander 開催
- 4/23 県大会を兼ねたMカップ開催
- 7/23-24 北信越国体 福井県
- 10/2-4 とちぎ国体 応援と視察
- 11/9 県スポーツ協会とスポーツ課 ヒアリング参加
- 11/20 C級審判員更新研修 長野県独自開催
- 12/5 国体委員リモート会議 県大会について協議
- 12/16 県自治会館にて競技関係者会議出席
- 1/12 国体委員リモート会議 県大会について協議

#### 【次年度に向けて】

- ・長野国体に向けて、年々強化費が増える可能性が高い。それに伴う事務処理が増える。
- ・県から外郭団体として求められる資料が多く、ボランティアの範疇を超えている現状。
- ・やまなみ原稿やカンパのお願い自体に事務的負担感がある。

#### 【具体的な課題】

- ・国体委員長がすべての実務を行っているため、体制整備が急務
- ・ブロック選出の委員について、基本的に国体委員の業務を担っていただくことが必要と考える。それが難しいのであれば、選出方法を見直すべきではないか。
- ・審判員養成に伴う資金の支出は、県スポーツ課やスポーツ協会の補助には該当しにくい現状。国体委員とは別に、国体準備室と連携し長野国体に向けた人材育成のセッションが必要ではないか。(運営やビレイヤーの養成も含む)
- ・具体的に会計1名、県の補助金対応1名、北信越と本国体の申請担当1名、審判員養成研修担当者1名、県大会開催担当者2名の体制が必要と考える。
- ・国体委員長は2年1期として同じ人物が行うのではなく、様々な方が行ったほうが理解広まるか。

## スポーツクライミング委員会

### 2022年度活動報告

#### 1) 活動概要

- ① 委員会を年4回開催。指導方針と選手の成長についての話し合い。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習。
- ③ 全種別合同での練習会または講習会を年4回開催。
- ④ 複数種別が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自での錬成（合宿）をそれぞれ開催。
- ⑤ 県のマルチサポート活用事業活用。

#### 2) 活動内容

期 日	項 目	活動内容(参加選手の人数)
4月30日	錬成	エッジ&ソファ、ボルダー(11人)
6月5日	錬成	ダンボ。ボルダー(5人)
7月10日	錬成	アクティバ。リード(4人)
8月30日	錬成	アクティバ。リード(2人)
9月18.19日	合宿	山梨合宿リード、ボルダー(8人) トレーナー招聘
11月13日	錬成	ベースキャンプ。リード(2人)
11月26日	錬成	瑞牆山ボルダー(1人)
12月4日	錬成	ソラニ。北信越合同練習会(11人)
1月22日	講習会	山岳総合センター ユースクライマー講習(30人)
1月28日	錬成	笠置山ボルダー(2人)
2月11、12日	合宿	白川ボルダー合宿(4人)

#### 3) 総括

- ①強化指定選手の選考基準を変更した（HPにて公開済）
- ②北信越強化選手と合同で全種別合同練習をすることができた
- ③各支部からの委員構成ではなく国体経験者を委員にしたことで役割を分担し業務をスムーズに行うことが出来た。
- ④マルチサポート事業を来年度はさらに活用したい

## 長野県高体連登山専門部

### 2022年度活動報告

大会名 令和4年長野県高等学校総合体育大会 第51回登山大会  
 期日 令和4年 6月2日(木)～6月3日(金)  
 場所 上田市菅平高原  
 会場 根子岳・四阿山  
 成績

#### 男子正規チーム

順位	学校名	合計
		95.00
1	松本県ヶ丘	90.80
2	屋代	88.80
3	大町岳陽	88.60
4	上田	84.70
5	上田西	78.40
6	松本工業	76.65
7	松本蟻ヶ崎	75.10
8	飯山	73.80
9	下伊那農業	69.70
10	飯田	67.00
11	岡谷南	66.45
12	岡谷工業	63.60
13	飯田OIDE長姫	53.70
14	白馬	22.45
15	飯田風越	17.35

#### 女子正規チーム

順位	学校名	合計
		95.00
1	下伊那農業	92.80
2	飯山	92.80
3	大町岳陽	94.60
4	松本県ヶ丘	92.70
5	屋代	88.40
6	長野吉田	88.65
6	上田西	88.10

大会名 令和4年北信越高等学校体育大会 第34回北信越高等学校登山大会  
 期日 令和4年 6月17日(金)～6月19日(日)  
 場所 石川県  
 会場 白山  
 出場校 団体男子 屋代高等学校  
 団体女子 飯山高等学校 優秀校

大会名 令和4年全国高等学校総合体育大会 第66回全国高等学校登山大会  
 期日 令和4年 8月5日(金)～8月9日(火)  
 場所 香川県 まんのう町  
 会場 笠形山・竜王山・大川山  
 出場校 団体男子 松本県ヶ丘高等学校 95.2点 27位  
 団体女子 下伊那農業高等学校 94.2点 28位

## 2022(令和4)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理について

### 【総括】

コロナ禍3年目。4月～5月初めにかけて人工岩場の利用人数制限と、7月～8月にかけてコロナ感染拡大による教室や講習会の中止があったものの、過去2年間に比べれば、コロナの影響をほとんど受けることない1年間だった。

施設利用面においては、人工岩場とボルダリング壁利用者数はコロナ前に戻りつつあるが、宿泊利用者数の回復は未だ見られない。

### 1. 主催講習について

- ・昨年度、計画はしたもののコロナのため開催することのできなかった、コースで学ぶ「リーダーコース(夏・雪山)」とロープクライミングを学ぶ「マルチピッチクライミング教室(クライミング経験者向け)」を予定通り開催するとともに、その両コースでは、今後センターの講師候補となる若手の人材に補助講師として経験を積んでもらった。
- ・複数の中から日付を選択して受講できピンポイントで学べる「Mountain Salon」を今年度から開講し、クライミング講習関係を中心に申し込みがあった。
- ・次世代の育成及び地元の方にセンターを知ってもらい地元の方のセンター利用促進を目的に、昨年度は月1回開催の「わいわいkidsボルダリング教室」を月2回に増やし開催した。
- ・次世代の育成につながる事業のメインとして考えていた「高校生登山塾」と、県体育センターと共催の教職員向けの研修講座「信州の山で学ぼう ～唐松岳2,696m～」は、医療非常事態宣言が発出中のタイミングと重なり中止せざるを得なかったのは大変残念だった。
- ・山岳協会の各委員会や支部(ジュニア、指導、遭対、自然保護委員会・中信支部)と共催という形で、各種研修会や教室を開催した。

### 2. 利用事業について

- ・長野県競技力向上対策本部及び長野県山岳協会より移設設置の依頼があり、体験室に設置したボルダリング壁2基は、子どもから大人までの多くのボルダリング愛好者が利用している。
- ・ボルダリング壁の利用促進を目的に、正月の時期に「お正月ボルビンゴ」を開催した。
- ・築30年となる人工岩場の老朽化の現状を県に伝え、点検と補修作業の実施をお願いした。

### 3. その他の事業等について

- ・無料通話・メールアプリ「LINE」を使い、気軽に登山に関する質問や相談ができる「登山相談所」を4月23日～5月15日と7月中の2回開設し、職員が分担して答えた。
- ・10月20日から、里山の紅葉を楽しみながら安全登山への意識を高めてもらうことを目的に、「#長野県山岳総合センター #紅葉の里山 フォトキャンペーン」を実施した。



・登山者と接する機会の多いアウトドアショップスタッフとセンター職員が、情報共有や基本的な登山技術・知識を相互に学ぶことを通してアウトドア業界として連携を深めるとともに安全登山に対する意識を高めることを目的として、北アルプス圏域のアウトドアショップと合同研修会「信州山岳アウトドア研修会」を開催した。

・下記への職員の講師派遣をした。

上田西高等学校山岳部のクライミングの課外活動

北安曇教育会登山研修の唐松岳登山

国立信州高遠青少年自然の家の教育事業「信州高遠サマーキャンプ」

白馬高校国際観光科の2学年「山岳基礎」及び3学年「アウトドアスポーツ」

「高校生の冬山・春山登山における安全確保指針」に従う登山計画の事前審査会

長野県シニア大学大北学部

長野県中信高体連登山専門部の技術研修交流会

長野救命医療専門学校 山岳救命コースの授業

株式会社 TOSYS 雪山講習会

## 2022（令和4）年度 長野県山岳総合センター 収支見通し

科目		見通し	備考
収入	指定管理料	26,357,000	
	施設利用	556,000	施設利用・宿泊・ボルダリング利用
	その他収入	226,843	外部への職員派遣など
	前期繰越し	192,951	前期の純利益
	主催事業収入	3,103,450	預かり金を除く
	小計	30,436,244	
支出	人件費	15,705,111	法定福利費、臨時職員含む
	管理経費	2,119,524	人件費以外の管理系費用、施設更新・備品更新含む
	主催事業支出	1,342,600	講師謝礼、交通費、燃料など。預かり金除く
	小計	19,167,235	
収支		11,269,009	3月20日時点の見通し

※この収支は3月20日時点のもので、ここから3月分の経費、消費税、源泉所得税などを支払った残りが今期の余剰金となる

(様式1)

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：長野県山岳協会]

[記載日：2023年3月14日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
<b>原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。</b>	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。 (現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	—
非該当	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・規約を定め、組織的な活動を行っている。 ・会計口座は、団体活動のための専用の口座であり、個人の財産とは分別して管理・運営している。	
(3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・公共施設の利用にあたっては、当該施設の使用を遵守している。 ・登山にあたっては、法令、長野県登山安全条例等の遵守を会員に周知している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・規約上で組織を定め、理事、監事を置き、担当する役員を整備している。	

<b>原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。</b>	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・年に一度の定期総会で基本方針の確認、承認を行っている。また、ウェブサイトで公表している。	
<b>原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。</b>	
(1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・一部委員が長野県スポーツ協会協会のコンプライアンス講習に出席。 ・理事に対してコンプライアンス教育	
(2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・A登録選手実施、指導者実施	
<b>原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。</b>	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。 ・国体関連の会計については、長野県教育委員会の監査を受けている。	
(2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・本年度よりガイドラインを決めて取り組んでいる。	
(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A

<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会計については適切に処理を行い、監事による監査を受けている。</li> <li>・ 国体関連の会計については、理事会で報告し、また長野県教育委員会の監査を受けている。</li> </ul>	
<p><b>原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。</b></p>	
<p>(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。</p>	—
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>非該当</p>	
<p>(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。</p>	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウェブサイト上で組織の情報を開示している。役員、規程等。</li> <li>・ 年度ごとの収支は、2021 年度から公表している。</li> </ul>	
<p><b>原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。</b></p>	
<p>自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード&lt;NF 向け&gt;の規定があるか (ある場合は下欄に記述)</p>	
<p>原則 ■ について</p>	
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特になし</li> </ul>	

表 彰

2023年度被表彰者

賞	団体名	氏名	表彰該当事項
山岳栄光賞	国体成年女子長野県チーム	監督・橋詰正興	<p>成年女子チームは、栃木県で行われた第77回国民体育大会において、リード競技7位、ボルダリング競技6位入賞を果たした。</p> <p>その成果はもとより、不断の努力により勝ち取った栄光と長野県山岳界への功績は大である。</p>
		選手・三森里子	
		選手・中嶋 諒	
感謝状	クライミング メイト クラブ(CMC)	百瀬尚幸	<p>百瀬尚幸氏は1970年にCMCを創立され、山岳協会加盟後は当協会の活動に積極的に参加された。</p> <p>また1994年度から7年に渡って当協会の会長を務められるなど、長野県の山岳界に多大な功績を残された。</p> <p>このたび多年のご労苦に対し、長野県山岳協会としてその功績をたたえ、感謝状を贈ります。</p>

## 2023年度 長野県山岳協会 活動方針（案）

長山協の衰退が続いています。22年度も1団体の退会がありました。その一方で2028年には長野国スポが予定され、当協会がスポーツクライミング競技を主管することが決まっています。そのためこれらの課題と向き合うために、以下の4点を重点課題とします。

### 1 協会活動の見直し

協会員と理事の負担を軽減し、協会員のメリットを増やし、登山愛好者、グループの取り込みをはかることで加盟山岳会の増加をはかり、協会全体の活性化を目指します。

①組織を登山部、競技部、総務部の3つに再編しました。部内には複数の委員会があります。これまでは各委員会がそれぞれ別の活動をしていましたが、部内に所属する委員会同士の協力を進めることで、委員長の負担を少しでも軽減できればと考えています。

②協会員のヨコのつながりを重視した活動を進めていきます。5月の針ノ木、10月の小川山、冬の八ヶ岳、といった交流行事をより活性化していきたいと考えています。①にも書いたように、登山部の各委員会が協力して行事を企画運営することで、負担が軽減されると考えています。

③技術交流。上記②他の場面で、技術交流の場を作ればと考えています。

④ ③にも関連しますが、著名なクライマーや著述家の講演会あるいは技術講習会を行えないかと考えています。協会員は無料あるいは安価とすることで、一般参加者との区別をつけられればと思っています。

### 2 国スポの準備

課題は①運営 ②選手強化 の2つです。

①については、国体やJMSCAの運営する大会への視察員、役員派遣という形で、少しずつ競技運営へのノウハウを身につけていく必要があります。また競技施設については大町市との連携・協議を進めていく必要があります。また審判員の育成も進めていかなければなりません。

②本年2月より、長野フリークライミングクラブが発足しました。当協会のスポーツクライミング委員や強化選手らが所属しています。このクラブを中心に選手強化を進めていければと考えています。

### 3 情報発信強化

HPの見直し、SNS（フェイスブック、インスタグラム等）の活用、機関紙やまなみの見直し等を行っていきます。当協会の認知度は低いです。特に登山グループや登山愛好者への認知度は、非常に低いのが現状です。一方でそれらのグループ、個人にとっても当協会の

強みである「横のつながり」や「技術の伝達」はそれなりにメリットがあると思います。未組織のグループや個人にどうやって当協会の認知度とメリットを伝えるか。これが今年の課題です。当協会が指定管理者となっている山岳総合センターと連携して、この課題に向き合いたいと思います。

#### 4 山岳総合センター

山岳総合センターは安全な登山に関する知識及び技術の普及啓発を行う教育事業の場です。この使命を果たすためにも、安定して運営が継続できるよう体質を強めていくことが必要であると考えています。



## 総務部

### 2023 年度活動計画

#### 1) 活動方針

正確・適正な事務処理に努めることを第一義として事務事業に対応して行きます。

事務的処理に当っては可能な限り複数者が関わり、正確性を期すとともに関係者の負担軽減を図り、また協会員の皆さんから理解しやすい事務対応を目指します。

また、やまなみ編集委員、SNS 発信協力者はもとより、総務部役員での協調体制を整え知恵を出し合いながら、個人情報保護の観点にも立ちつつ登山活動の活性化、協会運営の円滑化に資する情報の適時発信を行っていきます。

#### 2) 活動計画

事務局では、郵送物、SNS 受信書類などの円滑かつ正確な処理に努めます。

また、協会で契約する Zoom 機能を可能な限り加盟団体などの利用に供し、活動の活性化を支援し対費用効果の向上を目指します。

会計担当では、更なる収支の正確かつ円滑な会計処理を目指した対応に努めます。

やまなみ担当では、ウィズコロナによる登山活動の活発化を念頭に適切かつ役立つ紙面作りを目指します。

ホームページ担当では、SNS の強みを生かした新鮮な登山情報の収集、発信の充実を目指します。

事務の効率化、情報発信の強化・蓄積、伝わりやすい手段などを確立するため、新しいデジタルコンテンツの導入も含めた検討を行います。

#### 3) 役員名簿

役 職	氏 名	所 属
部 長	西 田 均	大町山の会
事 務 局 長	藤 井 伸	諏訪山岳会
事務局次長(事務担当)	佐 伯 和 人	山幸グループ
事務局次長(会計担当)	平 林 秀 樹	岡谷山稜
やまなみ 担 当	沼 田 陽 子	信濃高等学校教職員山岳会
ホームページ担当	赤 梅 琴 美	大町山の会

## 広報 長野県山岳協会ニュースやまなみ

### 2023 活動計画

#### 1) 活動方針

- (1) 年間4回発行し、各号4ページとする。
- (2) 山岳協会、各支部、各山岳会の活動記録、活動報告を中心に据え、記録および情報交換、情報提供の場にし、登山活動に活用できる機関誌を目指す。
- (3) 内容などに関する意見を各方面に聞いたり、編集委員がアイデアを出し合ったりすることで、新鮮味があり、また、読者の興味関心が持てる冊子になるよう工夫する。

#### 2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
6月10日	249号発行	内容の計画、記事依頼、編集、打ち合わせ、入稿、校正など、その都度実施。
9月10日	250号発行	
12月10日	251号発行	
3月10日	252号発行	
6月10日 9月10日 12月10日 3月10日	やまなみ発送作業	松本市双葉印刷にて、編集委員・担当副会長・事務局・担当にて発送作業。

#### 3) やまなみ編集委員

役 職	氏 名	所 属
担当副会長	西田 均	大町山の会
担当理事	沼田陽子	信濃高等学校教職員山岳会
東北信支部委員	中島智章	長野山岳会
中信支部委員	中川由香里	松本岳友会 L & M
諏訪支部委員	藤森 千吹	下諏訪山岳会
伊那支部委員	唐木千穂	伊那山の会

## 広報 ホームページ

### 2023 年度活動計画

#### 1) 活動方針

##### ① 情報発信力の強化と各会との連携

HP を核として、Facebook、Instagram 等の SNS も活用しながら、知名度向上と情報発信力の強化に努める。また、各所属団体についても HP や SNS を実施している会が増えているため、連携を図りながら、新規会員の獲得につながるような魅力ある情報発信を行っていききたい。

##### ② 分かりやすいホームページの運営

ホームページを見やすく利用しやすいものとするため、引き続き手を入れていく。

#### 2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
通年	情報発信	ホームページ SNS (Facebook、Instagram) 上記を中心とした迅速な情報発信
通年	情報共有及び発信	各委員会と連携して、活動内容の発信を行う
通年	協会活動の広報強化	協会の活動やイベント情報などを、協会所属団体等の SNS 等にも掲載を依頼し、協会活動の周知や PR に努める
通年	やまなみとの連携	紙媒体と電子媒体の役割分担を行い、効率的な情報発信に努める

##### ● 情報発信の充実

2022 年度より SNS 発信について各会員に呼びかけ協力を依頼したが、今年度は下記の協力者を核にしながら、回数・内容とも充実させる。

##### ● 個人情報の取り扱いについて

上記情報発信を含め、個人情報や肖像権に十分留意するとともに、HP 等で開示することが必然でないものについては、HP 上に掲載しないなど、引き続き情報の取り扱いには細心の注意を払って運営する。

#### 3) 担当者

役 職	氏 名	所 属
(主担当)	赤梅 琴美	大町山の会
	伊崎 唯	松本岳友会ライフアンドマウント
	影嶋 知香子	諏訪山岳会
	林 政樹	伊那山の会

## 東北信支部

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ①東北信支部各会が交流し、親睦を深めるとともに、相互の登山技術および安全登山の向上を図る。
- ②楽しく安全な登山の普及に寄与するため、協会員以外を対象とした登山教室の開催を検討する。
- ③支部交流会を実施し親睦を深める。
- ④幹事会の持ち方について ZOOM 等を活用したWeb会議を中心として、各会幹事の負担軽減につながるよう検討を進める。

#### 2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月中旬	第1回幹事会	・本年度事業計画について ・物見の岩清掃について
6月3日(土)	物見の岩清掃 物見の岩御礼	・合同清掃と交流会 ・霊山寺(支部長対応)
6月下旬日	第2回幹事会	・登山教室の開催について
7月中下旬	夏山登山教室	(詳細 未定)
8月下旬日	第3回幹事会	・支部交流会について
9月下旬以降	支部交流会	(内容 未定)
3月上旬	支部定期総会	・今年度の事業・会計報告と監査 ・次年度の事業計画及び予算の承認

#### 3) 東北信支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	松山 武彦	中野山岳会	ジュニア委員	和田 司	杵臼バチ長野
事務局長			国体(競技)委員	伊東 秀起	アトワール
副支部長	和田 司	杵臼バチ長野	スポーツライジング委員		
指導委員	松山 信	マウントブロー	国際登山委員	松下 徳孝	中条山岳会
遭難対策委員			医科学委員	柴本 利広	GDM
自然保護委員	中島 智章	長野山岳会	やまなみ編集委員	中島 智章	長野山岳会

## 中信支部

2023年度 活動計画

### (1) 活動方針

- ①加盟団体が交流し、親睦を深めるとともに登山技術及び安全登山の向上を図る。
- ②「登山教室」を開催し、登山活動の普及を図る。

### (2) 実施予定

回	実施日	教室名称	活動内容
1	4月12日（水）	第1回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度事業計画について</li> <li>・春山登山計画について</li> </ul>
2	7月12日（水）	第2回幹事会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏山登山教室について</li> </ul>
3	7月30日（日）	夏山登山教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏山登山教室の実施</li> <li>・小中学生及びその親</li> <li>・大町市運動公園 人工岩場</li> </ul>
4	3月6日（水）	第3回幹事会 （支部総会）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度事業について</li> <li>・来年度事業計画について</li> </ul>

### (3) 委員名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
支部長	栗原久	大町山の会	国体委員	川嶋一暢	大町山の会
副支部長	小野文孝	松本岳友会 ライフ&マウント	SC委員	川嶋一暢	大町山の会
指導委員	小野文孝	松本岳友会 ライフ&マウント	国際登山委員	栗原久	大町山の会
遭難対策委員	小野文孝	松本岳友会 ライフ&マウント	医科学委員	寺山質	信州大学 医学部山岳部
自然保護委員	麻田正明	松本岳友会 ライフ&マウント	やまなみ編集委員	三木百合子	松本岳友会 ライフ&マウント
ジュニア委員	栗原久	大町山の会			

## 諏訪支部

### 2023年度活動計画

#### 1)活動方針

諏訪支部各会が親睦を深め、情報交換を図る。

夏山登山教室、清掃登山等の恒例行事は、コロナウイルス対策を行い実施し、一般登山者の安全登山の向上を図る。

#### 2)活動計画

- 夏山登山教室
- 八ヶ岳清掃登山
- 登ろうふるさとの山

期 日	項 目	活動内容
4/13(木)	第1回幹事会	事業計画決定 夏山登山教室検討
7/6(木)	第2回幹事会	夏山登山教室の最終確認 清掃登山検討
7月	夏山登山教室	指導部取りまとめ
9/7(木)	第3回幹事会	夏山登山教室の反省 清掃登山最終確認
9月 or10月	八ヶ岳清掃登山	普及指導部/自然保護部、取りまとめ
11月前後	登ろうふるさとの山	
2/15(木)	第4回幹事会	活動内容まとめ、次年度活動計画検討
3/1(金)	支部総会	2023年度活動報告・決算 2024年度活動計画・予算

#### 3)役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	内山 恵之	下諏訪山岳会	国体委員	小林正則	岡谷山稜会
副支部長	今井 幸男 藤森 千吹	岡谷山岳会 下諏訪山岳会	スポーツライミング 委員	藤巻 功	諏訪山岳会
事務局長	小松 善仁	山幸グループ <sup>o</sup>	国際登山委員	今井 幸男	岡谷山岳会
指導委員	宮坂 公久	茅野山岳会	医科学委員	渡辺 剛	茅野山岳会
遭難対策委員	坂本 元太	諏訪山岳会	やまなみ編集委員	藤森 千吹	下諏訪山岳会
自然保護委員	守屋 真美	山幸グループ <sup>o</sup>			
ジュニア委員	影嶋 知香子	諏訪山岳会			

## 伊那支部

### 2023年度 活動計画

#### 1) 活動方針

伊那支部各会の交流と発展を目的とし、交流会や技術講習会などを行っていく。  
安全な登山について考え、安全対策の確認と充実を図る。  
長野県山岳協会の活動への積極的な参加を行う。

#### 2) 活動内容

期日	項目	活動内容
5月16日	第1回 幹事会	総会報告 新年度活動内容の確認
5月28日	ふるさとの山を登ろう	担当 飯田山岳会
7月	夏山登山教室	担当 伊那山の会
9月19日	第2回 幹事会	理事会報告 秋山交流会の確認
10月22日	秋山交流会	担当 駒峰山岳会
10月22日	第3回 幹事会	理事会報告 冬季技術訓練の確認
12月16日～ 17日	冬季技術訓練	担当 飯田山岳会
2月18日	冬山交流会	担当 駒峰山岳会
3月12日	第4回 幹事会 年度末総会	理事会報告 支部年度末総会

#### 3) 伊那支部役員名簿

役職	氏名	所属	役職	氏名	所属
支部長	塩澤 成人	伊那山の会	遭難対策委員	藤原 昌之	伊那山の会
副支部長	小田切 圭	駒峰山岳会	ジュニア委員	傘木 靖	飯田山岳会
指導委員	伊藤 彰啓	伊那山の会	スポーツクライミング委員	竹内 一郎	飯田山岳会
やまなみ編集委員	唐木 千穂	伊那山の会	支部幹事	塩澤 成人	伊那山の会
自然保護委員	吉澤 志津子	伊那山の会	支部幹事	小田切 圭	駒峰山岳会
国際登山委員	林 英之	駒峰山岳会	支部幹事	寺澤 多津子	飯田山岳会
医科学委員	寺澤 多津子	飯田山岳会			
国体委員	木ノ島康弘	駒峰山岳会			

## 登山部

### 2023年度方針

1. 協会の本来の願いに沿った登山活動を活発化する。
2. 登山部内の委員会また山岳総合センターとの連携により、諸事業を活発に行う。

#### 具体的活動

1. 第26回雪上技術交流会 in 針ノ木 5月13日(土)～14日(日)
2. 第37回長山協キャンプ in 小川山 10月14日(土)～15日(日)
3. 第9回ウインターミーティング in 八ヶ岳 2月17日(土)～18日(日)
4. 長山協 山のセミナー 1月27日(土)
5. 自然保護委員会 自然観察会 4月 日( )  
春の野鳥観察会 5月 日( )  
冬の野鳥観察会 月 日( )
6. ジュニア登山教室  
第1回登山教室 「子どもクライミング教室」 9月3日(日)  
第2回登山教室 「湯俣ハイキング」 10月1日(日)  
第3回登山教室 「雪のたかがり山 ハイク」 2月3日(土)  
第4回登山教室 「雪の中山高原」 2月4日(日)

#### 指導委員会の事業（上記記載事業を除く）

- 1 AC 指導者養成講習会 5月13日(土)～14日(日)
- 2 第63回指導員検定会 (AC) 5月27日(土)～28日(日)
- 3 スキルアップ研修会（長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分）  
指導員更新講習部門含む  
① 岩登り 6月3日(土)  
② 危急時対策 9月2日(土)  
③ スポーツクライミング 11月11日(土)
- 4 指導員検定会 (SC) 11月25日(土)～26日(日)  
オンライン講座 未定
- 5 SC 指導者養成講習会 未定



## 指導委員会

### 2023 年度活動計画

とりあえず、コロナ以前の事業計画に戻し、指導員検定や更新に係る事業および、会員相互の交流を深めながら安全で活発な登山・クライミング活動に寄与できるよう計画を考えます。

- |   |  |                            |
|---|--|----------------------------|
| 1 | 第 26 回雪上交流会 in 針の木<br>指導員更新講習部門含む                | 5 月 13 日(土)～14 日(日)        |
| 2 | AC 指導者養成講習会                                      | 5 月 13 日(土)～14 日(日)        |
| 3 | 第 63 回指導員検定会(AC)                                 | 5 月 27 日(土)～28 日(日)        |
| 4 | 第 37 回長山協キャンプ in 小川山<br>指導員更新講習部門含む              | 10 月 14 日(土)～15 日(日)       |
| 5 | スキルアップ研修会(長野県山岳総合センター・遭難対策委員会共催分)<br>指導員更新講習部門含む |                            |
|   | ① 岩登り  | 6 月 3 日(土)                 |
|   | ② 危急時対策  | 9 月 2 日(土)                 |
|   | ③ スポーツクライミング                                     | 11 月 11 日(土)               |
| 6 | 指導員検定会(SC)<br>オンライン講座                            | 11 月 25 日(土)～26 日(日)<br>未定 |
| 7 | SC 指導者養成講習会                                      | 未定                         |
| 8 | ウインターミーティング in 八ヶ岳<br>指導員更新講習部門含む                | 2024 年 2 月 17 日(土)～18 日(日) |
| 9 | 指導員総会  | 2024 年 3 月 2 日(土)          |

#### 外部派遣

- 10 主任検定員養成講習会(JMSCA) 2023 年 3 月 18 日～19 日  
2023 年 3 月 18 日～19 日に谷川岳にて実施。AC・A 級主任検定員講習に 1 名派遣。  
SC 主任検定員講習にも派遣したい。

#### 随時実施

- 11 支部主催登山教室への協力  
12 更新時講習・対象講習手続き  
13 協会未加盟指導員の個人会員化・有効期限切れ会員への対応のお願い

#### 2023(令和5)年度 指導委員会専門委員会

委員長	高橋 政男	
副委員長	松山 信	
総務	伊藤 彰啓	
会計	宮坂 公久	
検定	傘木 靖	中村 和義
研修	小野 文孝	金井 剛
検定員	傘木 靖	SC
	松山 信	AC(A) 2022.3
	中村 和義	AC(B) 2023.3(予定)

## 登山部 遭難対策委員会

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ・ 遭難対策として、①山岳遭難の予防、②危急時・遭難発生時の被害軽減を目的として下記の研修を実施する。

##### ① 山岳遭難の予防

研修内容：雪上技術、ロープワーク等

##### ② 危急時・遭難発生時の被害軽減

研修内容：岩場のセルフレスキュー、雪崩対応等、ファーストエイド等

※研修においては、指導委員会、山岳総合センター等と協力しておこなう。

- ・ 遭難事故発生時において、単一山岳会で対応できない部分についての支援をおこなう。

#### 2) 活動計画

- 長山協指導委員会との共催事業の実施
- 山岳センター主催事業への共催
- 遭対委員会の実施
- 日本山岳・SC協会 全国遭難対策委員長会議への参加

期 日	項 目	活動内容
2023年4月	第1回遭対委員会	顔合わせ、年間計画確認
5月13～14日	針の木交流会(指導委共催)	
6月3日	スキルアップ研修会① (山岳センター、指導委共催)	岩登り
6月24～25日	JMSCA 全国遭難対策委員長会議・研修会	東京スポーツ文化館にて対面で実施予定
9月2日	スキルアップ研修会② (山岳センター、指導委共催)	無雪期登山道の危急時対策
10月14～15日	長山協キャンプ(指導委共催)	
2024年 2月17～18日	長山協ウインターミーティング(共催)	

#### 3) 役員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	西之園 徹	諏訪山岳会
東北信	松山 信	マウント・ブーリー
中信	小野 文孝	松本岳友会ライフ&マウント
諏訪	坂本 元太	諏訪山岳会
伊那	藤原 昌之	伊那山の会

# 自然保護委員会

## 2023 年度活動計画

### 1) 活動方針

今年度は、前年度までに検討した内容について状況を鑑みながら可能な範囲で実現したい。

各支部の委員を中核にまた長野県山岳総合センター及び登山部各委員会とも連携を図りながら協会員が「参加したい」と思える活動を行って行きたい。

長山協 HP や SNS 投稿なども活用した事業を実施して行きたい。

### 2) 活動計画

期 日	項 目	活 動 内 容
1 2 ～ 2 月	冬の野鳥観察会 (鷹狩山周辺)	センター、ジュニア委員会と共催
通年	山の写真・情報募集	信州の山の写真を広く募集、協会 SNS を通じて 広く信州の山のすばらしさを周知する。 HP 担当と協力。

#### 【対外・外部会議等】

- ① 乗鞍岳自動車利用適正化連絡協議会
- ② 高山植物等保護対策協議会
- ③ JMCA 自然保護委員会

### 3) 役員名簿

支部	氏名	所属
委員長	伊久間 幸広	飯田山岳会
東北信	中島 智章	長野山岳会
中信	麻田 正明	松本岳友会 L&M
	赤梅 琴美	大町山の会
諏訪	守屋 真美	山幸グループ
伊那	吉澤 志津子	伊那山の会

## ジュニア委員会

2023年度 活動計画

### (1) 活動方針

- ①登山、自然体験教室を実施する（いずれも山岳総合センターとの共催）
- ②次年度以降の登山教室実施候補山域の選定と取組み方についての検討を行う。

### (2) 実施予定

回	実施日	教室名称	活動内容・実施場所	備 考
1	6月4日（土）	第1回登山教室	小・中学校SC教室 大町運動公園	山岳総合センター共催
2	7月27日（水） ～28日（木）	第2回登山教室	自然体験教室 センター周辺	山岳総合センター共催
3	9月4日（日）	第3回登山教室	夏山登山教室 高瀬渓谷 湯俣	山岳総合センター共催
4	11月20日（日）	第4回登山教室	自然体験教室 センター周辺	親子ものづくり教室 山岳総合センター共催
5	2月（日程未定）	第5回登山教室	里山雪山登山教室 センター周辺	大町市鷹狩山 自然保護委員会共催

### (3) 委員名簿

	氏 名	役 職	支 部	所 属
1	栗原久	委員長	中信支部	大町山の会
2	和田 司	支部選出	東北信支部	ホワイトバーチ長野
3	影嶋知香子	〃	諏訪支部	諏訪山岳会
4	傘木靖	〃	伊那支部	飯田山岳会
5	田中秀和	〃	中信支部	松本岳友会ライフ&マウント
6	柁津唯	〃	〃	〃
7	谷田部奈美	〃	〃	信州大学医学部山岳部
8	内山璃沙	〃	〃	〃

## 国際登山委員会

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ・ 西藏登山協会およびネパール登山協会との友好関係事業の継続
- ・ 国際交流の推進
- ・ 海外登山検討会の実施
- ・ 長山協 山のセミナー開催
- ・ JMSCA 国際 AC 委員会の会合に参加、情報収集
- ・ 新たな取組として「海外キャンプ」(登山隊・トレッキング隊)の企画を検討

#### 2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
未定	JMSCA 国際 AC 総会出席	海外登山技術研究会(同時開催)出席
1月27日	長山協 山のセミナー開催	他委員会との共同開催
(随時)	海外登山検討会実施	計画検討

#### 3) 役員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	中島 俊弥	個人会員
東北信	松下 徳孝	中条山岳会
中信	栗原 久	大町山の会
諏訪	花岡 秀幸	岡谷山岳会
伊那	林 英之	駒峰山岳会

## 医科学委員会

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ・『生涯登山を楽しもう！』故障に負けない体づくりを提案してまいります。
- ・登山部他の委員会とも共催し、活動を行なってまいります。

#### 2) 活動計画

期 日	項 目	活動内容
5月中旬	第1回医科学委員会	ズームによる委員顔合わせ ・方針の確認を行なう
6月 12月 3月	『やまなみ』への寄稿	登山やクライミングに必要な体づくり他
1月27日	長山協『山のセミナー』の開催	他委員会との共同開催を計画いたします。

#### 3) 役員名簿

役職	氏 名	所 属
委員長	神保 敦子	ホワイトバーチ長野
副委員長	服部 徹	理学療法士会
委員（東北信）	柴本 利広	グループ・ド・モレーヌ
委員（中信）	寺山 質	信大医学部山岳部
委員（諏訪）	渡辺 剛	茅野山岳会
委員（伊那）	寺澤 多津子	飯田山岳会
委員	藤堂 庫治	理学療法士会

## 競技部 国体委員会

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ① 国体選手の選出、派遣
- ② 国体選手・国体候補選手参加の強化合宿のサポート
- ③ 選手の発掘および育成に向けて、クライミングジムへの協力依頼および連携。
- ④ 長野県スポーツ協会との連携

#### 2) 活動内容

期 日	項 目	活 動 内 容
4月16日	県クライミング大会（国体県予選）ちゃんめろ	
5月	北信越五県代表者会議（石川県） 県スポーツ協会競技力向上専門委員会	北信越国体抽選等
6月23日	北信越国体申込締め切り	北信越国体の手続き等
7月29,30日	北信越国体（新潟県）	選手強化合宿
9月	国民体育大会監督会議（長野市）	
10月8日～10日	国民体育大会（鹿児島県）	選手強化合宿
11月	県スポーツ協会ヒアリング（長野市） 北信越五県連絡協議会	本年度国体成績等
12月	理事長・競技力向上専門委員合同会議 北信越ブロック研修会	今後の選手強化等

#### 3) 要望

#### 2023 年度委員名簿

役 職	氏 名	所 属	備 考
委員長	川嶋 一暢	大町山の会	
委員	宮沢 嵩希	大町山の会	会計
委員	小沼 拓也	GDM	
委員	大西 浩	信高山岳会	県大会担当
委員	松田 大	信高山岳会	

## 競技部 スポーツクライミング委員会

### 2023年度活動計画

#### 1) 活動方針

- ① 強化指定選手中心の錬成。
- ② クライミングジムとの連携強化。
- ③ 長野県スポーツ協会との連携強化。

#### 2) 活動内容

- ① 委員会を年4回開催し、指導方針と選手の成長を話し合う。
- ② 基本的には選手それぞれが個人練習をする。
- ③ 全種別合同での練習会または講習会を年4回開催する。
- ④ 複数種別が合同で開催することも見据えつつ、各種別独自での錬成（合宿）をそれぞれ開催する。
- ⑤ 県のマルチサポート活用事業を積極的に活用する。

#### 2023年度委員名簿

役職	氏名	所属	備考
委員長	橋詰 正興	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	橋本 今史	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	中嶋 渉	長野フリークライミングクラブ	コーチ1
委員	京屋 仁	長野フリークライミングクラブ	コーチ1 JMCA公認セッター
委員	中嶋 岳志	長野フリークライミングクラブ	
委員	笠原 大輔	長野フリークライミングクラブ	JMCA公認セッター
委員	小林 大祐	長野フリークライミングクラブ	コーチ1



長野県高体連登山専門部

2023年度活動計画

大会名 令和5年長野県高等学校総合体育大会 第52回登山大会  
期 日 令和5年 6月1日(木)～6月2日(金)  
場 所 大町市運動公園  
会 場 鍬ノ峰

大会名 令和5年北信越高等学校体育大会 第35回北信越高等学校登山大会  
期 日 令和5年 6月16日(金)～6月18日(日)  
場 所 福井県  
会 場 栄螺が岳

大会名 令和5年全国高等学校総合体育大会 第67回全国高等学校登山大会  
期 日 令和5年 8月7日(月)～8月11日(金)  
場 所 北海道 旭川市  
会 場 旭岳・黒岳・十勝岳

## 2023(令和5)年度 長野県山岳総合センター 運営・管理のポイント

### 1. 職員体制について

- ・現職員体制を基本に、専門性の高い優秀な人材確保に向けてアンテナを常に高くしていく。

### 2. 自主事業（含む安全登山と野外活動に関する事業）について

#### ①次世代の育成につながる事業へ注力していく

- ・高校生対象の登山教室「高校生アウトドアキャンプ」を年2回開催する。
- ・学校教職員対象講座（含む県体育センターと共同開催）を、4講座開催する。
- ・子ども及び親子向けの教室や講座を、例年より多く年7回開催する（協会ジュニア委員会及び中信支部と共同開催を含む）。また、小学生対象のボルダリング教室を月2回、2部制で開催する。

#### ②利便性と効率を考え、受けやすく学びが深まる講習会等を開催していく

- ・従来の座学講習会においてオンラインを活用して、より多くの方が参加しやすい講習会にしていく。
- ・複数の中から日付を選択して受講できピンポイントで学べる「Mountain Salon」を、昨年度に引き続き開催する。
- ・コースで開催するリーダーコース(夏・雪山)及びマルチピッチクライミング教室（クライミング経験者向け）を、継続して開催する。

#### ③情報発信の充実とデジタルツールをさらに活用していく

- ・LINE等を利用した、双方向による登山相談を継続して実施する。
- ・ブログやFacebookのさらなる活用を図っていく。

#### ④遭難事故の多いシニア世代（60歳以上）に向けて、安全登山を啓発していく

- ・60歳以上（～79歳）対象の登山教室を、シリーズで開催する。

#### ⑤登山者の実態をつかむ事業に取り組んでいく

- ・県と共同による登山口での登山者の実態アンケート調査や、最近遭難が増えている里山登山の実態をつかむ調査を実施する。

#### ⑥若手講師の育成及び幅広いジャンルにおける講師を発掘していくとともに、登山者が直接指導を受けられる機会を増やす仕組みづくりのひとつとして、山岳センター講師による講習会の紹介をしていく

### 3. 利用事業について

- ・築30年となる人工岩場は老朽化が進んでいる。利用者が安全に使えるよう、引き続き早急な点検及び補修工事を県に対してお願いしていく。
- ・イベント開催等を通して、ボルダリング壁や宿泊等の利用者増を図っていく。

### 4. 長山協とのかわり

- ・指導委員会、遭対委員会、ジュニア委員会を中心に、講習会や研修会、教室を共同開催していく（公認スポーツ指導者資格更新講習会としての開催もあり）。
- ・上記シニア対象の安全登山教室や里山登山の実態をつかむ調査において、長山協会員の協力もお願いすることを考えたい。

# 2023年度 長野県山岳協会 年間計画

※下線は長山協以外で主管の行事

4月		5月		6月		7月		8月		9月	
1 土		1 月		1 木	高等学校総合体育大会	1 土		1 火		1 金	
2 日		2 火		2 金	高等学校総合体育大会	2 日		2 水		2 土	スキルアップ研修会
3 月		3 水		3 土	スキルアップ研修会 東北信・物見の岩清掃	3 月		3 木		3 日	ジュニア登山教室①
4 火		4 木		4 日		4 火		4 金		4 月	
5 水		5 金		5 月		5 水		5 土		5 火	
6 木		6 土		6 火		6 木	諏訪支部幹事会②	6 日		6 水	
7 金		7 日		7 水		7 金		7 月	全国高校登山大会	7 木	諏訪支部幹事会③
8 土	22Y第7回理事会	8 月		8 木		8 土		8 火	全国高校登山大会	8 金	
9 日	第64回定期総会	9 火		9 金		9 日		9 水	全国高校登山大会	9 土	
10 月		10 水		10 土	やまなみ249号発行	10 月		10 木	全国高校登山大会	10 日	やまなみ250号発行
11 火		11 木		11 日		11 火		11 金	全国高校登山大会	11 月	
12 水	中信支部幹事会①	12 金		12 月		12 水	中信支部幹事会②	12 土		12 火	
13 木	諏訪支部幹事会①	13 土	第26回雪上技術交流会 AC指導者養成講習会	13 火	第1回理事会	13 木		13 日		13 水	
14 金		14 日	第26回雪上技術交流会 AC指導者養成講習会	14 水		14 金		14 月		14 木	
15 土		15 月		15 木		15 土		15 火		15 金	
16 日	県クライミング大会	16 火		16 金	伊那支部幹事会①	16 日		16 水		16 土	
17 月		17 水		17 土	北信越高等学校体育大会	17 月		17 木		17 日	
18 火		18 木		18 日	北信越高等学校体育大会	18 火		18 金		18 月	
19 水		19 金		19 月	北信越高等学校体育大会	19 水		19 土		19 火	伊那支部幹事会②
20 木		20 土		20 火		20 木		20 日		20 水	
21 金		21 日		21 水		21 金		21 月		21 木	
22 土		22 月		22 木		22 土		22 火	第2回理事会	22 金	
23 日		23 火		23 金		23 日		23 水		23 土	
24 月		24 水		24 土	遭対委員長会議	24 月		24 木		24 日	
25 火		25 木		25 日	遭対委員長会議	25 火		25 金		25 月	
26 水		26 金		26 月		26 水		26 土		26 火	
27 木		27 土	第63回指導員検定会	27 火		27 木		27 日		27 水	
28 金		28 日	第63回指導員検定会 伊那・ふるさとの山を登ろう	28 水		28 金		28 月		28 木	
29 土		29 月		29 木		29 土	第44回北信越国体(新潟)	29 火		29 金	
30 日		30 火		30 金		30 日	第44回北信越国体(新潟) 中信・夏山登山教室	30 水		30 土	
		31 水				31 月		31 木			
備考	東北信支部幹事会① 自然保護・自然観察会	備考	自然保護・野鳥観察会 北信越五県会議(石川)	備考	東北信支部幹事会②	備考	諏訪・夏山登山教室 伊那・夏山登山教室 東北・夏山登山教室	備考	東北信支部幹事会③	備考	東北信支部・交流会 国体監督会議

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1日	ジュニア登山教室②	1水		1金		1月		1木		1金	諏訪支部定期総会
2月		2木		2土		2火		2金		2土	指導委員会総会
3火		3金		3日		3水		3土	ジュニア登山教室③	3日	
4水		4土		4月		4木		4日	ジュニア登山教室④	4月	
5木		5日		5火		5金		5月		5火	
6金		6月		6水		6土		6火		6水	中信支部定期総会
7土		7火		7木		7日		7水		7木	
8日	かごしま国体	8水		8金		8月		8木		8金	
9月	かごしま国体	9木		9土		9火		9金		9土	
10火	かごしま国体	10金		10日	やまなみ251号発行	10水		10土		10日	やまなみ252号発行
11水		11土	スキルアップ研修会	11月		11木		11日		11月	
12木		12日		12火	第4回理事会	12金		12月		12火	第6回理事会 伊那支部定期総会
13金		13月		13水		13土		13火	第5回理事会	13水	
14土	37回長山協キャンプ	14火		14木		14日		14水		14木	
15日	37回長山協キャンプ	15水		15金		15月		15木	諏訪支部・幹事会④	15金	
16月		16木		16土	伊那支部・冬季技術訓練	16火		16金		16土	
17火	第3回理事会	17金		17日	伊那支部・冬季技術訓練	17水		17土	ウィンターミーティング	17日	
18水		18土		18月		18木		18日	ウィンターミーティング 伊那・冬山交流会	18月	
19木		19日		19火		19金		19月		19火	
20金		20月		20水		20土		20火		20水	
21土		21火		21木		21日		21水		21木	
22日	伊那・秋山交流会・幹事会③	22水		22金		22月		22木		22金	
23月		23木		23土		23火		23金		23土	
24火		24金		24日		24水		24土		24日	
25水		25土	SC指導員検定会	25月		25木		25日		25月	
26木		26日	SC指導員検定会	26火		26金		26月		26火	
27金		27月		27水		27土	山のセミナー	27火		27水	
28土		28火		28木		28日		28水		28木	
29日		29水		29金		29月		29木		29金	
30月		30木		30土		30火				30土	
31火				31日		31水				31日	
備考	諏訪・八ヶ岳清掃登山 全日本登山大会(千葉)	備考	北信越五県連絡協議会(長野) 諏訪・登ろうふるさとの山 スポーツ協会ヒアリング	備考	自然保護・野鳥観察会 北信越ブロック研修会	備考		備考		備考	東北信支部定期総会



## 2022年度 長野県山岳協会一般会計決算書

### 1 収入 【日本山岳・スポーツクライミング協会＝JMSCAと略称表記】

科目	2022年度予算額	2022年度決算額	比較増減	備考
加盟分担金	860,000	860,000	0	26団体 2旧中高年団体
個人会員会費	80,000	100,000	20,000	@5000×20
JMSCA還付金	250,000	271,415	21,415	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛助広告料	307,000	307,000	0	やまなみ賛助広告、Webパナー広告
補助金	180,000	140,000	△ 40,000	長野県山岳遭難対策(一部辞退)、JMSCA
雑収入	440	1,515	1,075	利息 他
繰越金	1,474,560	1,474,560		(2022年度開始時一般通帳1,022,295、個人会員452,265)
収入合計	3,152,000	3,154,490	2,490	

### 2 支出

科目	2022年度予算額	2022年度決算額	比較増減	備考
JMSCA会費	260,000	253,000	7,000	JMSCA へ
県スポーツ協会分担金	100,000	138,800	△ 38,800	県スポーツ協会へ、含保険代
県自然保護連盟分担金	5,000	0	5,000	県自然保護連盟活動休止中
支部交付金	46,000	46,000	0	東北信8 中信5 諏訪7 伊那3 @2000
高体連交付金	50,000	50,000	0	地区大会補助他
国際登山研修事業	30,000	13,865	16,135	セミナー費用
自然保護研修事業	30,000	25,798	4,202	長山協・山岳センター共催事業、セミナー費用
遭難対策研修事業	30,000	9,520	20,480	遭難事例検討会、JMSCA集合会議なし
指導研修活動事業	50,000	0	50,000	指導委員会内の処理で協会出費なし
競技登山事業	280,000	159,936	120,064	県大会、成年女子国体6位入賞
スポーツクライミング育成事業	80,000	62,040	17,960	年間活動費(セッター研修会等)
ジュニア育成事業	100,000	57,500	42,500	ジュニア登山教室3回
支部主催事業補助	160,000	7,260	152,740	夏山登山教室
医科学委員会補助	30,000	13,865	16,135	セミナー費用
特別事業費	200,000	36,480	163,520	栃木国体視察派遣、JMSCA国体打合他
対外交流・交渉費	100,000	9,136	90,864	JMSCA新春懇談会、他
北信越連絡協議会	50,000	50,000	0	北信越国体山岳競技分担金
協会会議費	100,000	49,520	50,480	会議会場費、Zoom利用料、理事会交通費補助他
通信費	50,000	19,167	30,833	郵便関係、宅配便
印刷費	50,000	37,880	12,120	事務局名封筒作成、コピー代
備品・消耗品費	30,000	3,614	26,386	コピー用紙、印刷消耗品等
旅費交通費	100,000	101,380	△ 1,380	会議、打合せ等の旅費補助
慶弔費	20,000	5,000	15,000	香典1件
雑費	10,000	9,900	100	振込手数料
やまなみ印刷代	200,000	245,740	△ 45,740	やまなみ印刷代(4回発行、内1回6ページ)
やまなみ事務費	100,000	76,272	23,728	やまなみ発送代、発送作業交通費補助
Web関連費	50,000	16,459	33,541	レンタルサーバー ドメイン契約更新
山岳図書資料館	5,000	0	5,000	
予備費	836,000	0	836,000	
支出合計	3,152,000	1,498,132	1,653,868	

収入合計 3,154,490 円

支出合計 1,498,132 円 差引 1,656,358 円 次年度繰越

## 2022年度 長野県山岳協会特別会計決算書

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越額	¥ 3,396,982	八十二銀行 普通
本年度収入額	¥ 18	利息
本年度支出額	¥ 0	
本年度末額	¥ 3,397,010	八十二銀行 普通

### 2022年度 会計監査報告

一般会計並びに特別会計決算報告に基づく全ての証拠書類について監査したところ、適正に処理されていることを認めましたので、報告いたします。

2023年 4月 8日

監 事

田中 幸雄

監 事

三澤 悦郎

## 2023年度 長野県山岳協会一般会計予算書(案)

### 1 収入 【日本山岳・スポーツクライミング協会＝JMSCAと略称表記】

科目	2022年度予算額	2023年度予算額	比較増減	備考
加盟分担金	860,000	855,000	△ 5,000	27団体 1旧中高年団体
個人会員会費	80,000	80,000	0	@5000 家族6000
JMSCA還付金	250,000	250,000	0	山岳共済加入額、選手登録数等から算定
賛助広告料	307,000	237,000	△ 70,000	やまなみ賛助広告、Webバナー広告
補助金	180,000	280,000	100,000	JMSCA、山岳共済、長野県山岳遭難対策
雑収入	440	642	202	利息 他
繰越金	1,474,560	1,656,358	181,798	
収入合計	3,152,000	3,359,000	207,000	

### 2 支出

科目	2022年度予算額	2023年度予算額	比較増減	備考
JMSCA会費	260,000	260,000	0	JMSCA へ
県スポーツ協会分担金	100,000	140,000	40,000	県スポーツ協会へ、含保険代
県自然保護連盟分担金	5,000	0	△ 5,000	県自然保護連盟活動休止中
支部交付金	46,000	44,000	△ 2,000	東北信8 中信4 諏訪7 伊那3 @2000
高体連交付金	50,000	50,000	0	地区大会補助 他
国際登山研修事業	30,000	30,000	0	JMSCA国際部総会研修会、海外登山研究会
自然保護研修事業	30,000	30,000	0	JMSCA自然保護委員総会および研修会
遭難対策研修事業	30,000	30,000	0	JMSCA遭難対策委員総会および研修会
指導研修活動事業	50,000	50,000	0	JMSCA指導委員総会、指導委員会企画事業補助
競技登山事業	280,000	280,000	0	県大会兼国体予選 含む経常事務費目安30000
スポーツクライミング育成事業	80,000	80,000	0	講習会他
ジュニア育成事業	100,000	100,000	0	ジュニア登山教室他
支部主催事業補助	160,000	160,000	0	夏山登山教室他 各支部主催事業補助
医科学委員会補助	30,000	30,000	0	医科学研修会他
特別事業費	200,000	200,000	0	国体関係会議 他
対外交流・交渉費	100,000	100,000	0	JMSCA新年会、県内外団体交流、交渉経費
北信越連絡協議会	50,000	50,000	0	北信越国体スポーツクライミング競技分担金
協会会議費	100,000	100,000	0	会議会場費、Zoom利用料、理事会交通費補助他
通信費	50,000	30,000	△ 20,000	郵便関係、宅配便など
印刷費	50,000	30,000	△ 20,000	コピー代他
備品・消耗品費	30,000	30,000	0	コピー用紙、印刷消耗品等
旅費交通費	100,000	100,000	0	会議、打合せ等旅費補助 他
慶弔費	20,000	20,000	0	関係者冠婚葬祭
雑費	10,000	10,000	0	振込手数料他
やまなみ印刷代	200,000	240,000	40,000	やまなみ印刷代、4回発行
やまなみ事務費	100,000	100,000	0	やまなみ発送代、発送作業交通費補助
Web関連費	50,000	50,000	0	レンタルサーバー HP改修 他
山岳図書資料館	5,000	5,000	0	
特別会計積立	0	500,000	500,000	長野国スポのための準備金として積み立て
予備費	836,000	510,000	△ 326,000	繰越金 他
支出合計	3,152,000	3,359,000	207,000	



2023 年度 長野県山岳協会特別会計予算（案）

項 目	金 額	摘 要
前年度繰越額	¥ 3,397,010	八十二銀行 普通
本年度収入額	¥ 500,020	¥500,000 一般会計から積立
		¥20 雑費(利息)
本年度支出額	¥ 0	
本年度末額	¥ 3,897,030	八十二銀行 普通

# 長野県山岳協会規約

## 第 1 章 総 則

### 第 1 条（名称・所在地）

本協会は、長野県山岳協会（以下「本協会」という）といい、英語名を NAGANOMOUNTAINEERING ASSOCIATION. JAPAN(略称N. M. A. JAPAN)とし、事務局を長野県内におく。

### 第 2 条（組 織）

本協会は、長野県内に事務所を持つ山岳団体で、第 4 条の目的に賛同して加盟するもの、及び長野県山岳協会の活動に賛同して加盟する個人をもって組織する。なお、県外を本拠地としていても、本協会の活動に賛同する団体が加盟を希望すれば、理事会にて審議した上で加盟を認めることもある。なお個人会員については、協会規約とは別の規程を定める。

### 第 3 条

本協会は、（公財）長野県スポーツ協会および（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会に加盟する。

## 第 2 章 目 的 お よ び 事 業

### 第 4 条（目 的）

本協会は、正しい登山を指導普及してその健全な発展をはかり、あわせて加盟団体の交流をはかりながら、国民体育ならびに文化の向上に寄与することを目的とする。

### 第 5 条（事 業）

本協会は、前条の目的を達成するため、必要に応じて次の事業を行う。

- (1) 登山道徳の啓蒙と安全な登山の普及
- (2) 登山の普及および技術の向上に関する研究会、講習会の開催
- (3) 山岳遭難の予防とその対策に関する企画および指導
- (4) 自然保護活動の推進と登山施設の愛護
- (5) 競技登山の推進
- (6) 海外登山の推進、情報の収集・提供および計画の指導ならびに相談
- (7) 機関紙、年報その他必要な出版物の発行
- (8) 長野県山岳総合センターの運営
- (9) その他目的を達成するために必要な事業

### 第 6 条

本協会の事業年度は、毎年 4 月 1 日に始まり翌年 3 月 31 日に終わる。

## 第 3 章 加 盟 団 体

### 第 7 条（加 盟）

1. 本協会に加盟しようとする団体は、事務局に届け出て、理事会の承認を得なければならない。
2. このほかに必要とする事項は、総会にはかり、別に定める。

### 第 8 条（脱 退）

本協会を脱退するには、理由を付した文書で届け出て理事会の承認を得なければならない。

### 第 9 条（除 名）

加盟団体が次の各号の一つに該当するときは、理事会および総会の議決をもって除名することができる。

- (1) 分担金を理由なく滞納したとき
- (2) 本協会の名誉を傷つけ、または本協会の目的に反する行為があったとき
- (3) 加盟団体の解散および消滅
- (4) 上記に準ずる事由がある場合

## 第 4 章 役 員

### 第10条 （役員の種類および員数）

1. 本協会に、次の役員をおく。

理事28名以内うち、会長1名

副会長若干名

理事長1名

事務局長1名

監事2名

2. 前項に規定する役員のほか、会長は総会の議を経て名誉会長、顧問および参与を委嘱することができる。

### 第11条 （役員の仕事）

1. 会長は、本協会を代表し会務を総括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときまたは欠けたときはその職務を代行する。
3. 理事長は、日常の協会業務を処理する。
4. 事務局長は、事務局を運営し、協会会計を処理する。
5. 理事は、理事会を組織し、本協会の業務を議決し執行する。
6. 監事は、会計を監査する。
7. 名誉会長、顧問は、会長の諮問に応え、必要に応じて意見を述べるすることができる。

### 第12条 （役員を選出）

1. 会長、副会長は、総会で推挙する。
2. 会長および副会長を除く理事は、次の各号に掲げる者とする。
  - (1) 各支部から選出された支部長
  - (2) 各専門部、専門委員会から選出された専門部長、専門委員長
  - (3) 総会の承認を得て、会長が委嘱した者
3. 理事長および事務局長は、理事の互選により理事会で選出する。
4. 監事は、総会で選出する。

### 第13条 （役員の仕事）

1. 役員の仕事は2年とし、再任を妨げない。
2. 補充役員の仕事は、前任者の残任期間とする。
3. 役員は仕事を満了しても、後任者が選出されるまでは、その職務を行う。

### 第14条 （役員の仕事）

本協会の役員としてふさわしくない行為があったとき、または特別な事情がある場合は、総会の議決によりこれを解任することができる。ただし総会の開催が困難な場合は、理事会の議決をもってかえることができる。

## 第 5 章 機 関

### 第15条 （会 議）

1. 本協会の会議は、総会、理事会とする。

2. 総会は会長が召集し、理事会は理事長が招集する。ただし評議員または理事の3分の1以上から目的を示して請求があったときは、会長または理事長は、速やかに総会または理事会を招集しなければならない。
3. 会議の議長は、総会においては出席評議員の互選により選出し、理事会においては理事長がつとめる。
4. 会議の議決は、本規約で特に定めてあるほかは、出席者の過半数によって決め、可否同数のときは議長が決める。

#### 第16条（総会）

1. 総会は、本協会の意思決定機関であって、毎年4月定例総会を開催するほか、必要に応じて臨時総会を開催する。
2. 総会の開催通知は、日時、場所および議案を明示して開催日の15日前までに発送しなければならない。ただし緊急やむをえないときは、この期間を短縮することができる。
3. 総会は、評議員現在数の過半数の出席（代理出席者を含む）により成立する。ただし出席できない評議員は、その議決権を他の評議員に委任することができ、その委任状をもって出席とみなすことができる。
4. 各加盟団体、高体連の評議員数は、付則別表による。
5. 総会の議を経なければならない事項は、次の通りである。
  - (1) 前年度の事業報告および決算報告
  - (2) 新年度の事業計画および予算
  - (3) 規約の改正
  - (4) 役員を選出、推挙および解任
  - (5) その他重要事項
6. 議長は、議事録署名人2名を指名し、議事録を作成する。
7. 理事その他の役員は、総会に出席して意見を述べることができる。

#### 第17条（理事会）

1. 理事会は、本協会の業務執行機関であって、必要に応じて随時開催する。
2. 理事会は、構成員の過半数の出席がなければ成立しない。ただし再度招集した場合はこの限りではない。

#### 第18条（専門部・専門委員会）

1. 本協会に第4条の目的を遂行するため、次の専門部および専門委員会をおく。
  - (1) 登山部
    - 指導委員会
    - 遭難対策委員会
    - 自然保護委員会
    - ジュニア委員会
    - 国際登山委員会
    - 医科学委員会
  - (2) 競技部
    - 国体委員会
    - スポーツライミング委員会
2. 各専門委員会の規定は、理事会の議を経て別に定める。
3. 各専門委員会は、各支部から推挙された者と専門委員会の委嘱委員をもって構成する。

#### 第19条（総務部）

1. 協会に、円滑な業務運営のため総務部をおく。
2. 総務部には、担当の副会長をおく。
3. 総務部には、理事会で承認された事務員をおく。
4. 総務部内には、広報担当と会計担当及びホームページ担当をおく。
5. 総務部の規定は、理事会の議を経て別に定める。

#### 第20条 (四役会)

1. 協会並びに理事会の円滑な運営のために、四役会をおく。
2. 四役会には、会長、副会長、理事長、副理事長、事務局長をもって構成する。

## 第 6 章 支 部 ・ 高 体 連

#### 第21条 (支 部)

本協会の目的を各地区の実状に合わせて遂行し、あわせて地域の独自性と創造ある活動で本協会全般の発展に寄与することを目的に支部をおく。

#### 第22条

支部は、原則として本協会の加盟団体によって構成される。

#### 第23条

支部は、次の各地域ごとに設置する。ただし組織が全県下にわたり、いずれの支部にも所属しがたいと認められる場合には、理事会の議を経て全県組織とすることができる。

- (1) 東北信支部 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、上水内郡、下水内郡、上高井郡、下高井郡、上田市、小諸市、佐久市、東御市、埴科郡、南佐久郡、北佐久郡、小県郡
- (2) 中信支部 松本市、塩尻市、大町市、安曇野市、東筑摩郡、木曾郡、北安曇郡
- (3) 諏訪支部 諏訪市、茅野市、岡谷市、諏訪郡
- (4) 伊那支部 伊那市、駒ヶ根市、飯田市、上伊那郡、下伊那郡

#### 第24条

支部の規約は、理事会の承認を経て支部ごとに定める。

#### 第25条 (高体連)

各高等学校の登山部は、高等等学校体育連盟（通称は高体連）登山専門部として加盟する。

## 第 7 章 付 属 機 関 等

#### 第26条

本協会の目的達成に資する為、次の附属機関及び構成員をおくことができる。

1. 親睦を目的とする旧中高年登山協加盟団体
2. 長野県山岳総合センター指定管理に伴う運営管理部及び部員
3. 山岳図書資料館の円滑な運営に資する運営委員会及び委員

## 第 8 章 会 計

#### 第27条 (経 費)

本協会の経費は、加盟団体の分担金、寄付金その他の収入をもってあてる。

#### 第28条 (分担金)

1. 本協会の加盟団体、高体連は、毎年付則別表に規定する額の分担金を納入しなければならない。
2. 分担金は、毎年5月までに納入するものとする。
3. 本協会へ新規に加盟した団体は、分担金の納入を1年間免除される。

## 第29条 （会計年度）

本協会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

## 第 10 章 規 約 の 改 廃 ・ そ の 他

### 第30条 （規約の改廃）

本規約は、総会に付議して、出席評議員の3分の2以上の賛成を得なければ改廃できない。

### 第31条 （運営細目）

本規約を運営するために必要な細則は、理事会でさだめることができる。

### 附 則

1. 本規約は、1966年8月7日から施行する。

2. 一部改正1972年 4月9日

1976年 4月4日

1977年 4月3日

1981年 3月20日

1984年 4月8日

1989年 10月29日

1993年 4月4日

1996年 4月7日

1998年 4月5日

2003年 4月6日

2005年 4月3日

2008年 4月13日

2012年 4月1日

2013年 4月15日

2018年 4月8日

2019年 4月14日

2020年 4月12日

2021年 4月11日

2022年 4月10日

### 3. 別 表

#### 評議員数および分担金

加盟団体会員数	評議員数	分担金の金額
5 名 以下	1 名	20,000円 (15,000+ 5,000)
6 名～ 10 名	1 名	25,000円 (15,000+ 10,000)
11名～ 15 名	1 名	30,000円 (15,000+ 15,000)
16名～ 20 名	1 名	35,000円 (15,000+ 20,000)
21名～ 25 名	1 名	40,000円 (15,000+ 25,000)
26名～ 30 名	1 名	45,000円 (15,000+ 30,000)
31名～ 35 名	1 名	50,000円 (15,000+ 35,000)
36名～ 40 名	1 名	55,000円 (15,000+ 40,000)
41名～ 45 名	1 名	60,000円 (15,000+ 45,000)
46名～ 50 名	1 名	65,000円 (15,000+ 50,000)
51名～ 75 名	2 名	75,000円 (15,000+ 60,000)
76名～ 100 名	2 名	85,000円 (15,000+ 70,000)
101 名～ 125 名	3 名	95,000円 (15,000+ 80,000)
126 名～ 150 名	3 名	105,000 円 (15,000+ 90,000)
151 名 以上	3 名	115,000 円 (15,000+100,000)
高体連	1 名	20,000円 (協定金額)
旧中高年登山協加盟団体	0 名	10,000円

加盟団体会員数は、前年度の登録人数とする。

# 長野県山岳協会組織図

2022.04.10 改定

